

株式会社ヨータイ

2021年3月期

決算説明資料

および

第一次中期経営計画

(2021-2023年度)

2021年5月27日

証券コード：5357

新型コロナウイルス感染症（C O V I D-19）によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げるとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

当社は、お客様、お取引先様、地域社会の皆様、従業員とその家族の安全と健康を最優先に感染拡大防止に努め、感染防止策を徹底したうえで、産業や社会を支えているお客様へ供給責任を果たしてまいります。

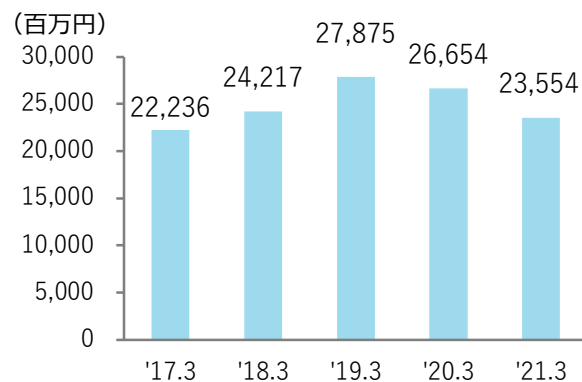
2021年3月期連結決算概要

- 主要取引先である鉄鋼業界の落ち込みによる耐火物販売量の減少などにより売上高は前期比11.6%の減収。
- コストダウンを推進したものの、生産量の減少、販売単価の下落などにより、経常利益は前期比26.9%の減益。
- エンジニアリング事業は環境装置向けの新設案件の増加と築炉工事の順調な進捗により売上高は前期比1.6%の増収、受注の増加による稼働率の向上に伴いセグメント利益は前期比18.3%の増益。
- 営口新窯耐においては、市況の悪化に伴い、焼成品等関連設備の減損損失（特別損失） 2億25百万円を計上。

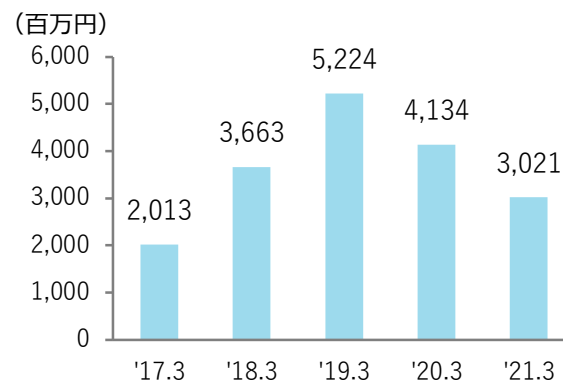
(百万円)

	2020.3期	2021.3期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	26,654	23,554	▲3,100	▲11.6%
営業利益 (売上高営業利益率)	4,017 (15.1%)	2,921 (12.4%)	▲1,096	▲27.3%
経常利益 (売上高経常利益率)	4,134 (15.5%)	3,021 (12.8%)	▲1,113	▲26.9%
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上高当期純利益率)	2,794 (10.5%)	1,845 (7.8%)	▲949	▲34.0%

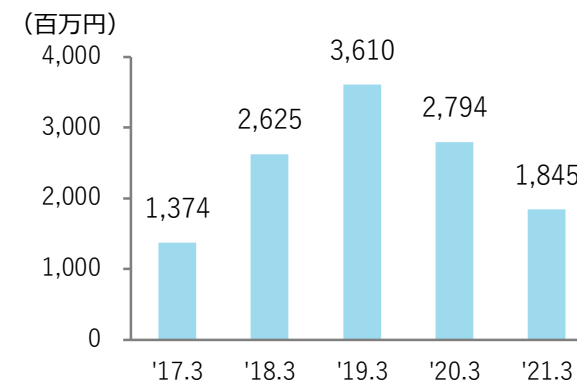
売上高



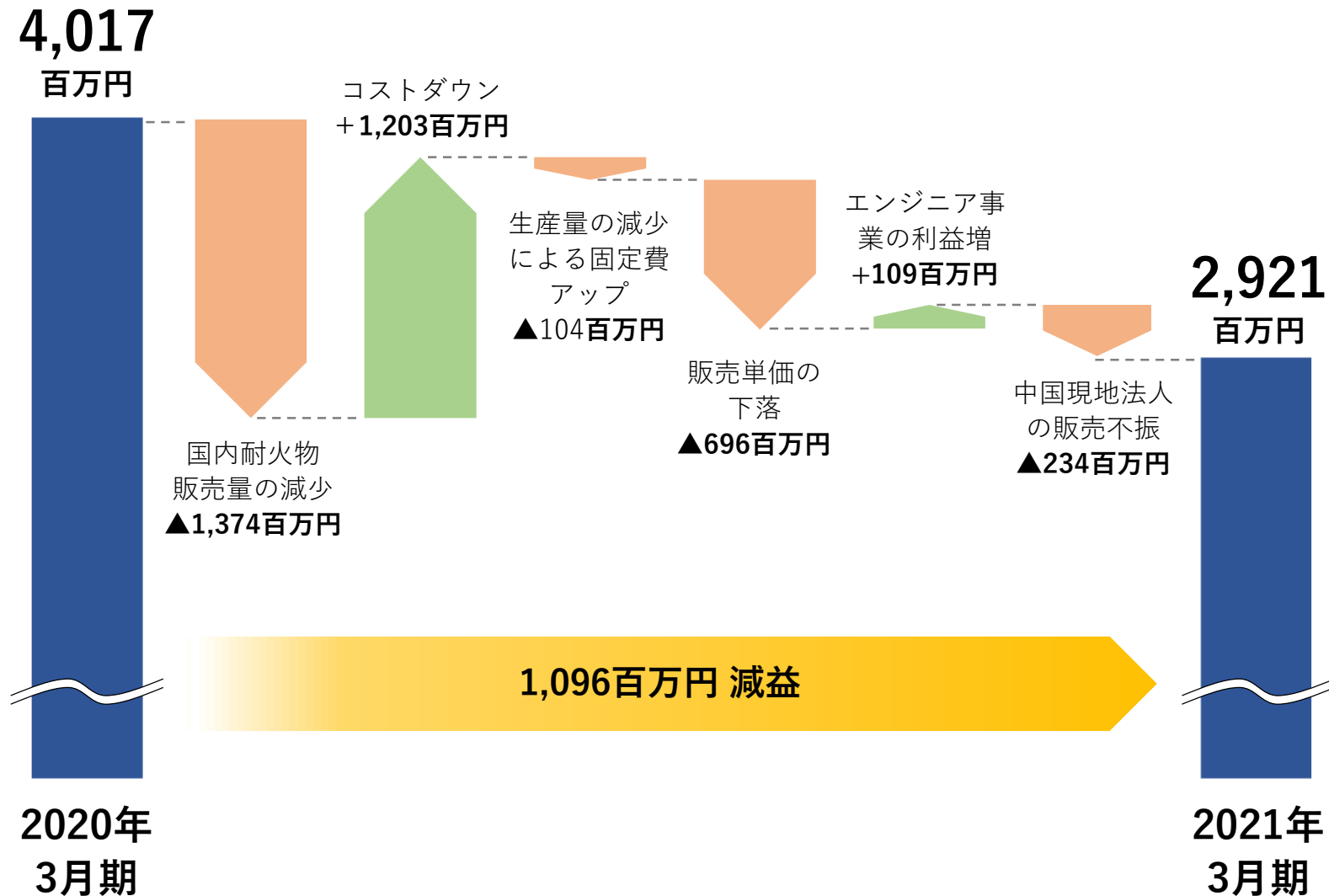
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益

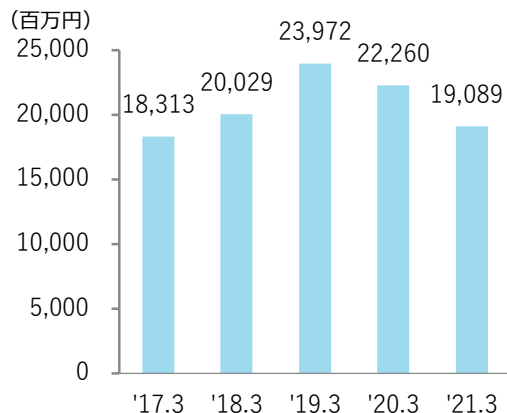


連結営業利益増減要因分析（前期比）

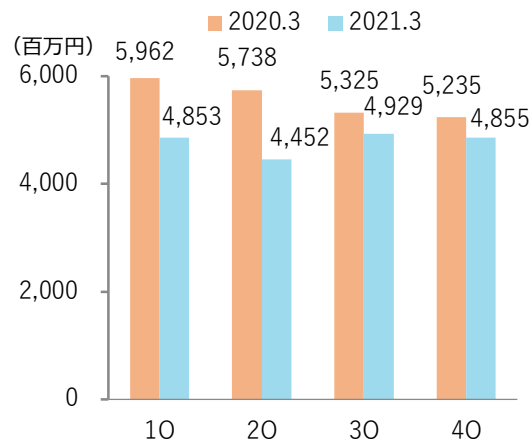


売上高は前期比14.2%減の19,089百万円、
セグメント利益は前期比24.6%減の3,609百万円

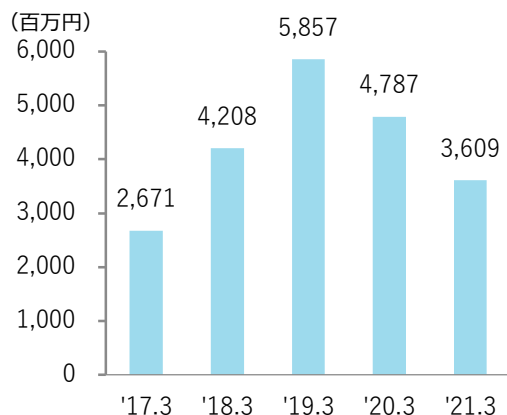
売上高



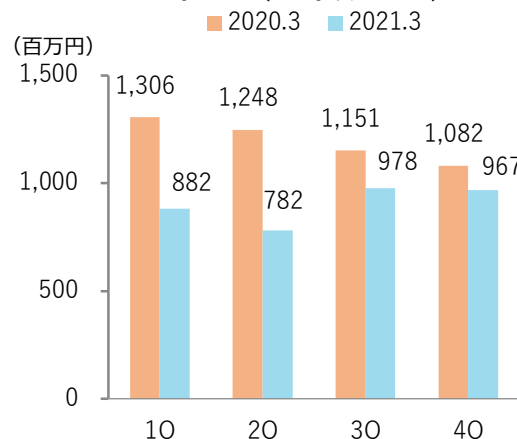
売上高 (四半期ごと)



セグメント利益



セグメント利益 (四半期ごと)

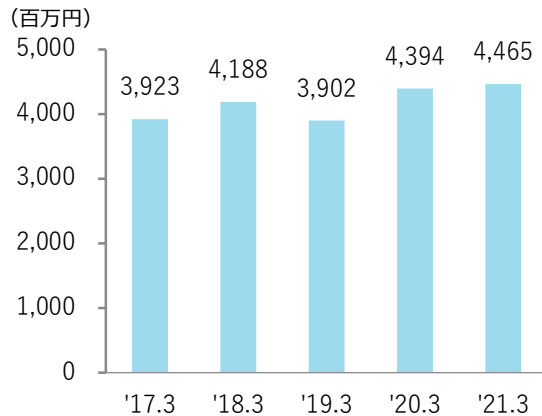


具体的な取り組み

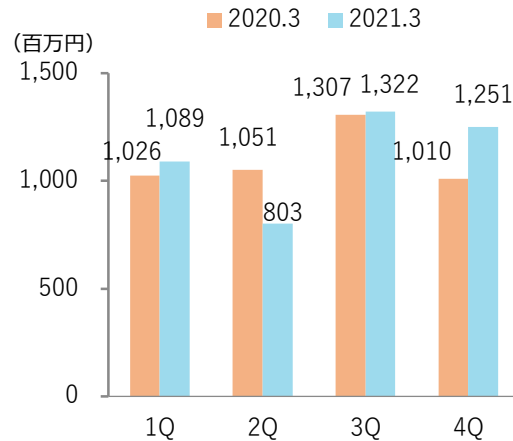
- 品質および生産効率向上に向け
1,500t以上の高圧プレス導入決定
- 焼成キャスティングブロックXシリーズ
の設備増強と手打ち品の負荷低減設備
の導入
- 作業環境にやさしいドライタイプの
不定形耐火物の拡販
- 耐ベントセッター、基板反り修正
セッターの国内外への拡販展開

売上高は前期比1.6%増の4,465百万円、
セグメント利益は前期比18.3%増の699百万円

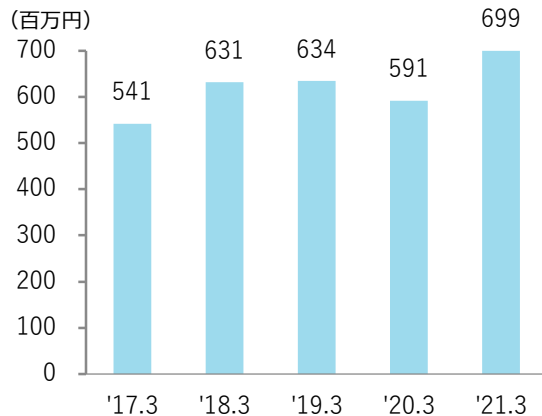
売上高



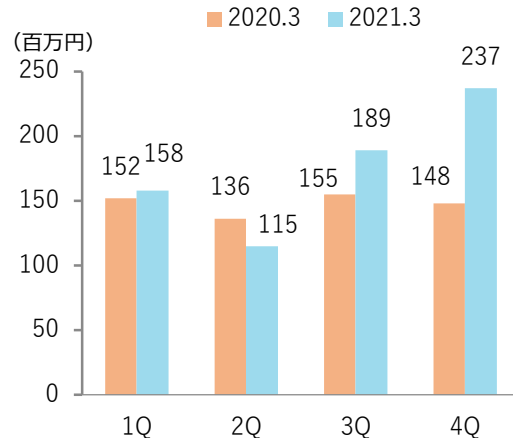
売上高（四半期ごと）



セグメント利益



セグメント利益（四半期ごと）



具体的な取り組み

- 新規開発の不定形耐火物を活用した工期の短縮
- 海外向けスーパーバイザー業務の積極展開
- 定期的な安全・技能講習の実施による現場力の向上
- 活力ある職場環境作りのため、計画的・持続的な人材採用

連結貸借対照表

(百万円)

	2020.3期	2021.3期	増減	主な増減要因
流動資産	27,448	27,921	+473	現金及び預金 +3,184 受取手形及び売掛金 ▲1,097 原材料及び貯蔵品 ▲880
固定資産	6,994	7,474	+480	投資有価証券 +601 建物及び構築物 +227
総資産	34,443	35,396	+953	
流動負債	5,875	4,967	▲908	電子記録債務 ▲264 買掛金 ▲254
固定負債	1,334	1,396	+62	退職給付に係る負債 +83
負債合計	7,209	6,364	▲845	
純資産合計	27,234	29,032	+1,798	利益剰余金 +1,582 その他有価証券評価差額金 +356
負債・純資産合計	34,443	35,396	+953	
自己資本比率	79.1%	82.0%	+2.9pts	
ROE (自己資本当期純利益率)	10.7%	6.6%	▲4.1pts	

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2020.3期	2021.3期	当期の主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	5,413	4,803	税金等調整前当期純利益 2,788 たな卸資産の減少 1,838 売上債権の減少 940 法人税等の支払額 ▲989
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,111	▲1,202	有形固定資産の取得による支出 ▲1,113 投資有価証券の取得による支出 ▲107
財務活動による キャッシュ・フロー	▲398	▲418	配当金の支払い額 ▲262 自己株式の取得による支出 ▲130
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲8	2	
現金及び現金同等物の 増減額	3,894	3,184	
現金及び現金同等物の 期末残高	8,206	11,390	

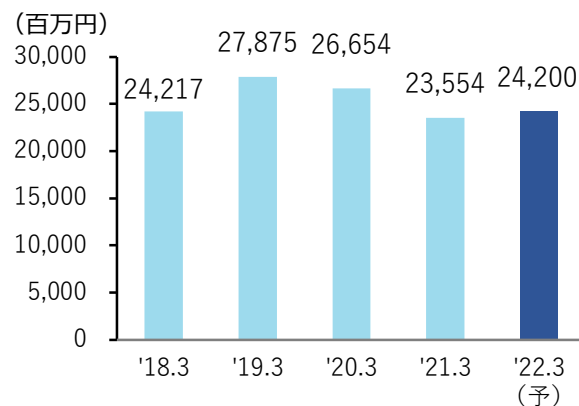
2022年3月期連結業績予想

- 鉄鋼・電子部品向けの需要回復などを想定し、売上高は前期比2.7%の増収、経常利益は同5.9%の増益を見込む。
- ただし、業績に与える影響が大きい粗鋼生産量、中国からの原料価格動向などが不透明であり注視が必要。

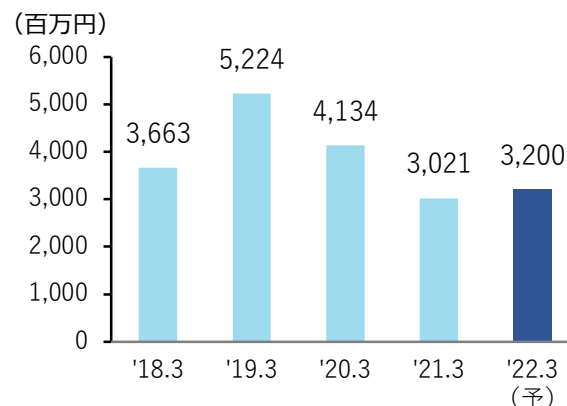
(百万円)

	2021.3期	2022.3期 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	23,554	24,200	+646	+2.7%
営業利益 (売上高営業利益率)	2,921 (12.4%)	3,100 (12.8%)	+179	+6.1%
経常利益 (売上高経常利益率)	3,021 (12.8%)	3,200 (13.2%)	+179	+5.9%
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上高当期純利益率)	1,845 (7.8%)	2,200 (9.1%)	+355	+19.2%

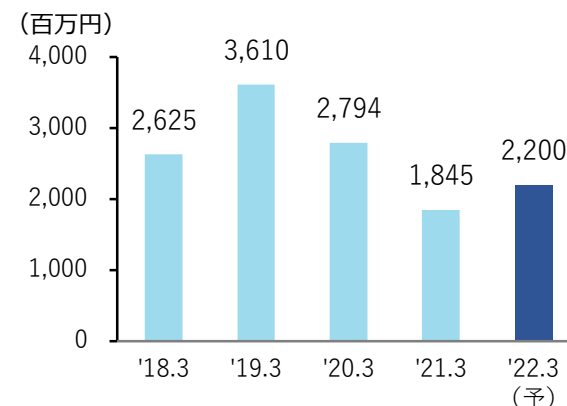
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



第一次中期経営計画（2021年度-2023年度）

「目指す企業像」の実現に向けて体制作りを行う期間

基本戦略・重点施策

高い収益力・高い健全性の維持を図りながら、ヒト・モノ・情報などへの投資を行い、持続的成長を支える経営基盤を構築する。

■ 体制

- ・ 人員配置の最適化
- ・ 国内外営業拠点の増設
- ・ 研究部門の構造改革
- ・ 技術サービス員の育成体制の構築

■ 設備・システム

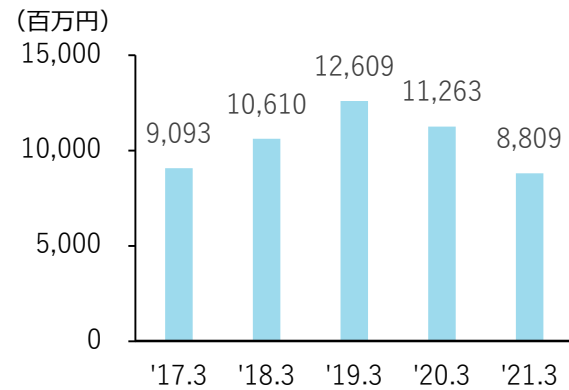
- ・ DXの推進
RPA、AI-OCRの活用
- ・ 基幹システムの更新
- ・ 大型高圧プレス of 導入
- ・ 耐火物表面改質装置の導入
- ・ 研究開発設備の増強

■ ESG

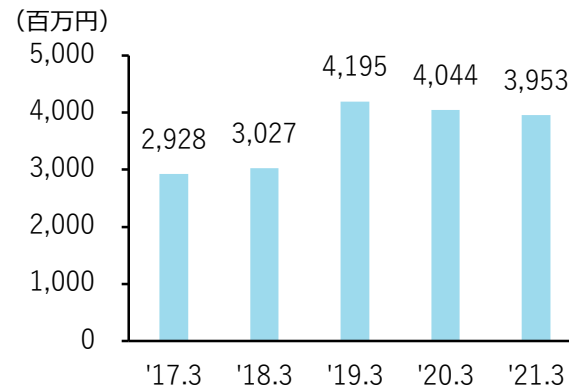
- ・ 製造プロセス見直しによるCO₂排出削減
- ・ 営業車両のEV化
- ・ 再生可能エネルギーの活用
太陽光発電、風力発電
- ・ 健康経営優良法人認定に向けた基盤作り
- ・ タレントマネジメントの向上
- ・ ガバナンス体制の実効性強化
- ・ 指名・報酬諮問委員会の活用
- ・ 譲渡制限付株式報酬制度の導入

業種別売上実績【単体】と見通し

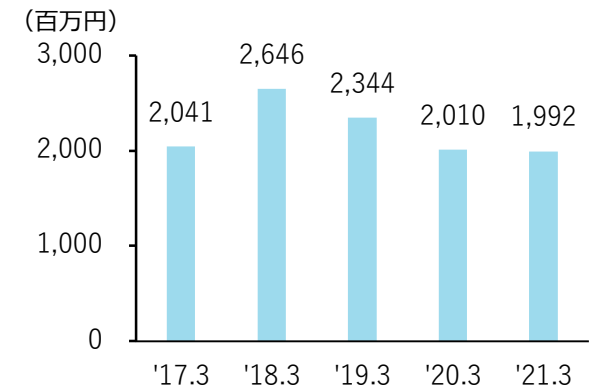
鉄鋼



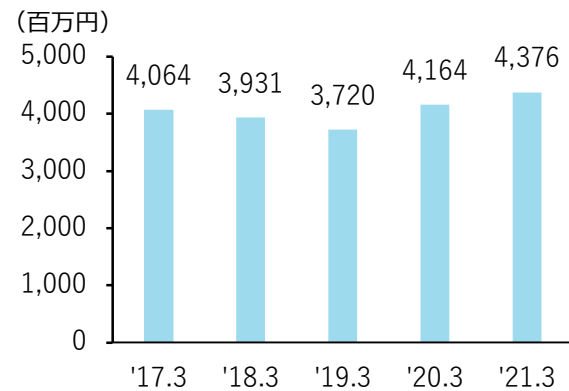
セメント



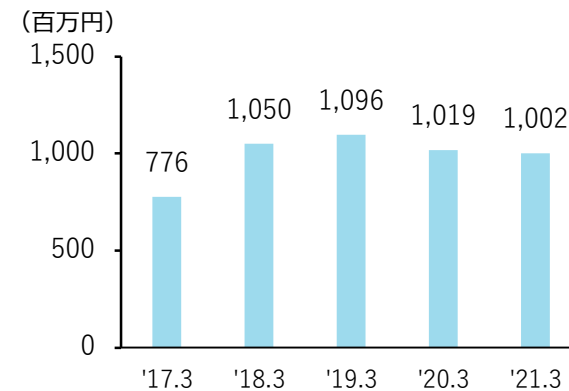
非鉄金属



環境装置



電子部品



	21.3期 実績	22.3期 見通し
鉄鋼	➡	➡
セメント	➡	➡
非鉄金属	➡	➡
環境装置	➡	➡
電子部品	➡	➡

社会的責任を誠実に果たし、地域社会とともに発展してまいります。

<SDGsへの取り組み> 海の豊かさを守る活動



日生工場において日生漁協を招いての
里海教室（アマモ場再生活動）を開催しました。

<SDGsへの取り組み> 陸の豊かさを守る活動



日生工場に桜50本を植樹しました。

<SDGsへの取り組み> 全事業所での献血活動



毎年多くの社員が献血に協力をしています。

東備消防組合の指導による 消防訓練



従業員の多くが消防団員として活躍。
近隣での消火活動に貢献しています。

宇部市「市制100周年記念事 業基金」への寄附金拠出



弊社の多くのお客様が所在する宇部市の
記念事業に村上建設工業株式会社様と
共同で寄付金を拠出しました。

備前市立吉永認定こども園に 卓球台2台を寄贈

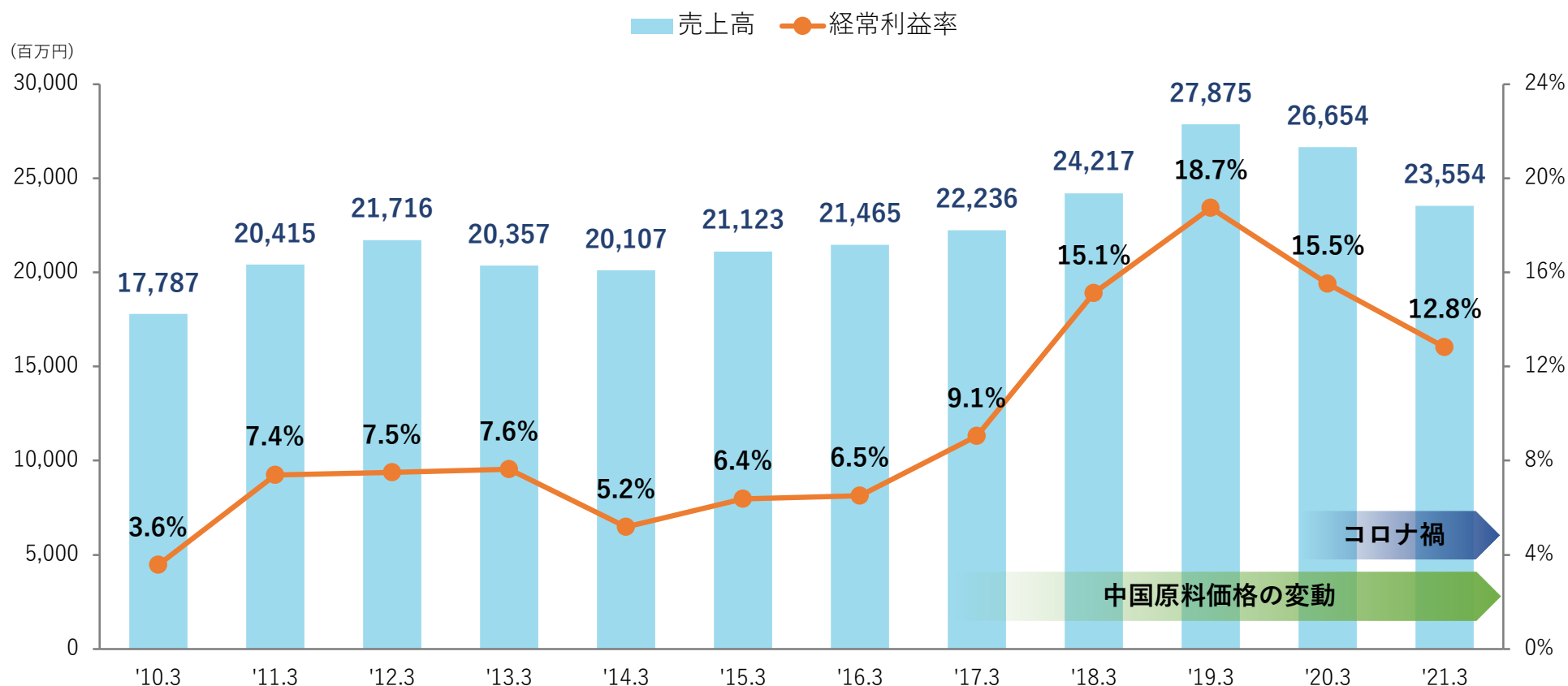


2019年から毎年事業所所在のこども園に
卓球台を寄贈しています。

この他、地域振興に貢献するための様々な活動を行っています。

第一次中期経営計画

- 当社はこれまで、取引先業界の多角化を図り、お客様のニーズに柔軟かつ迅速に対応することで、持続的な成長と収益性の向上を図ってきた。
- 2021年3月期は、コロナ禍で鉄鋼生産の落ち込みの影響を受け減収減益となったが、需要の確実な取り込みと徹底したコスト削減により、当初計画並の業績とすることができた。
- 今後、中国原料事情と鉄鋼業界の動向に懸念あり。





耐火物市場の成熟

- 国内耐火物需要は現状は安定した推移
- 取引先の業績悪化、原材料・エネルギー価格高騰など事業環境の変化



人口構成の変化

- 耐火物販売を支える築炉会社の減少
- 生産年齢人口の減少・人材不足



テクノロジーの急速な発達

- AI・IoT・ICT技術の進化
- テクノロジーの活用の巧拙が将来の企業価値に大きく影響



持続可能な社会への貢献

- CO₂排出削減・脱炭素社会への貢献への要請の高まり
- ESG・SDGsへの要請の高まり



高まる不確実性

強 み

特定の系列に属さない独立系

- **定形耐火物**における高いシェア
- 広範な取引先業種・企業を背景とした**業績の安定性**
- **電炉向け、セメント・非鉄金属・環境装置分野**の豊富な実績・ノウハウ
- **少量・多品種**の効率生産体制
- 徹底した合理化推進による高い**収益性**、高い**財務健全性**
- **営業・技術一体**となったきめ細かい対応

機 会

特定分野における耐火物の需要回復・エンジニアリング事業による事業機会

- 鉄鋼・非鉄・電子部品向けの**耐火物の需要回復**
- セメント、環境装置分野の**耐火物需要の安定推移見込み**
- **エンジニアリング事業**における伸びしろ、材工一式ニーズの高まり

弱 み

高炉メーカーとの結びつきの弱さ・海外展開の遅れ

- **鉄鋼分野**の動向に左右される事業構造
- **高炉メーカー**との結びつきの弱さ
(不定形耐火物の低いシェア)
- **海外展開**の遅れ、体制未整備
- 新分野開拓に取り組む**人材不足**

リスク

耐火物市場の需要減退、ESG・SDGsへの要請の高まり

- 国内市場の**成熟**による取引先の業績悪化懸念、長期視点での耐火物の**需要減退**
- 定形耐火物から**不定形耐火物**への需要のシフト
- **原材料価格高騰**、原材料調達の**中国依存**
- **CO₂排出削減・ESG・SDGs**への要請の高まり

外部環境認識



耐火物市場の成熟



人口構成の変化



テクノロジーの急速な発達

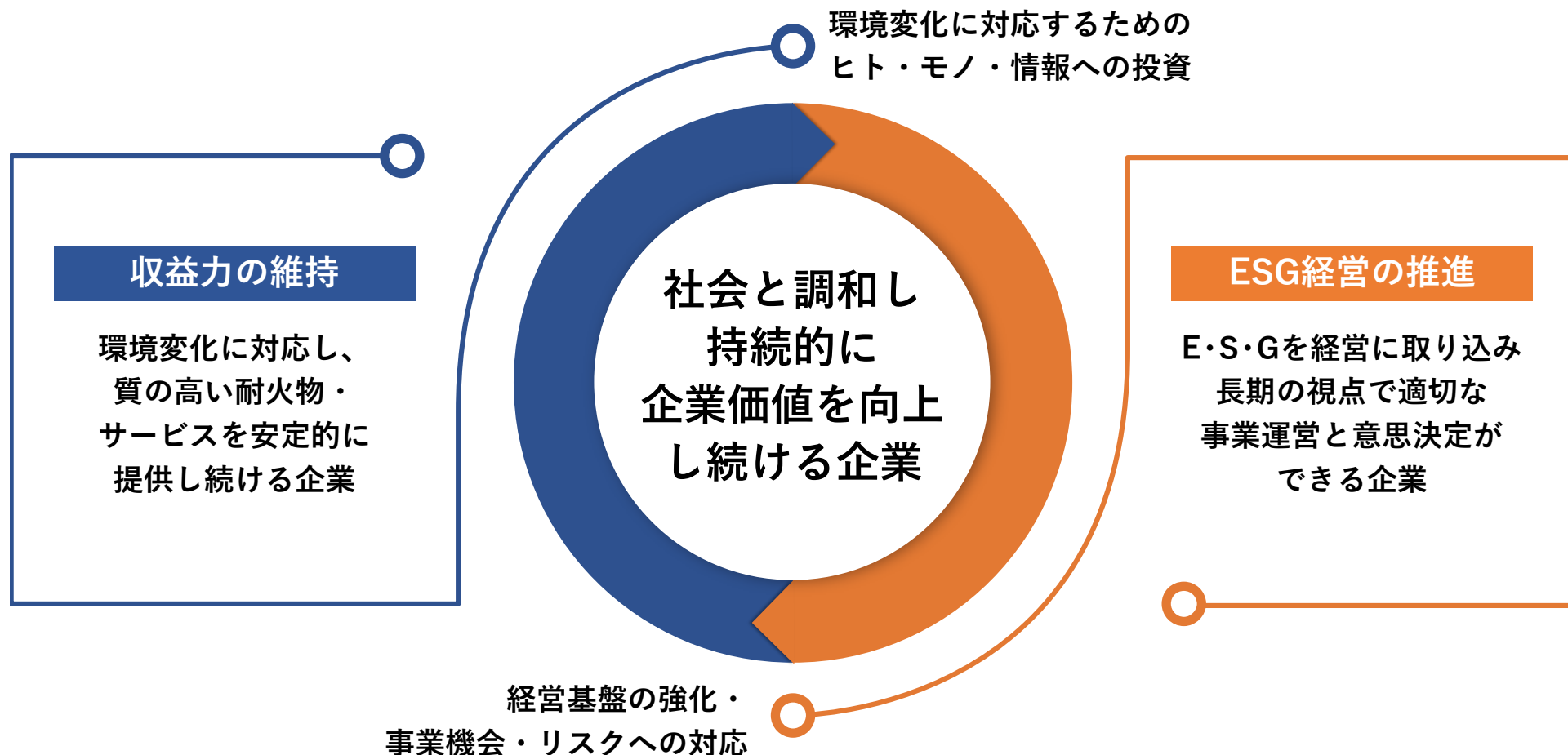


持続可能な社会への貢献

当社の課題

- 当社の強みを活かした製品・サービスの提供による他社との差別化
- 質の高い製品・サービス提供を支えるスタッフの増員と育成、従業員満足度向上
- 持続的な低コスト・安定供給体制の構築
- AI・IoT・ICT技術の活用による合理化・効率化の加速
- カーボンニュートラルへの対応、ESG経営の推進による経営基盤強化・リスク対応強化

財務価値・非財務価値を高め、 持続的に企業価値を向上し続ける企業へ



持続的な価値創造に向け、企業理念と行動規範をつなぐ 「目指す企業像」を新たに設定



第一次中期経営計画（2021年度-2023年度）

「目指す企業像」の実現に向けて体制作りを行う期間

基本戦略・重点施策

高い収益力・高い健全性の維持を図りながら、ヒト・モノ・情報などへの投資を行い、持続的成長を支える経営基盤を構築する。

収益力の維持

1

製品・サービスの質の向上による売上拡大

製品

- 他社に勝る差別化製品の展開

技術営業

- 技術サービス体制の強化

顧客対応

- 営業拠点の増設による顧客へのきめ細かい対応

2

低コスト・安定供給体制の強化

原料調達

- 原材料・エネルギー調達力の強化

合理化・効率化

- 合理化設備への積極投資
- 人員配置の最適化
- DXの推進

3

新たな収益源の育成

開発体制

- 研究開発体制の構造改革による次代を担う製品開発体制の強化

外部連携

- 顧客との技術交流に基づく新製品開発

ESG経営の推進

4

ESGの推進による経営基盤の構築

E：環境

- CO₂排出の少ない製造プロセスの構築
- 省エネルギー、脱炭素を見据えた設備投資

S：社会

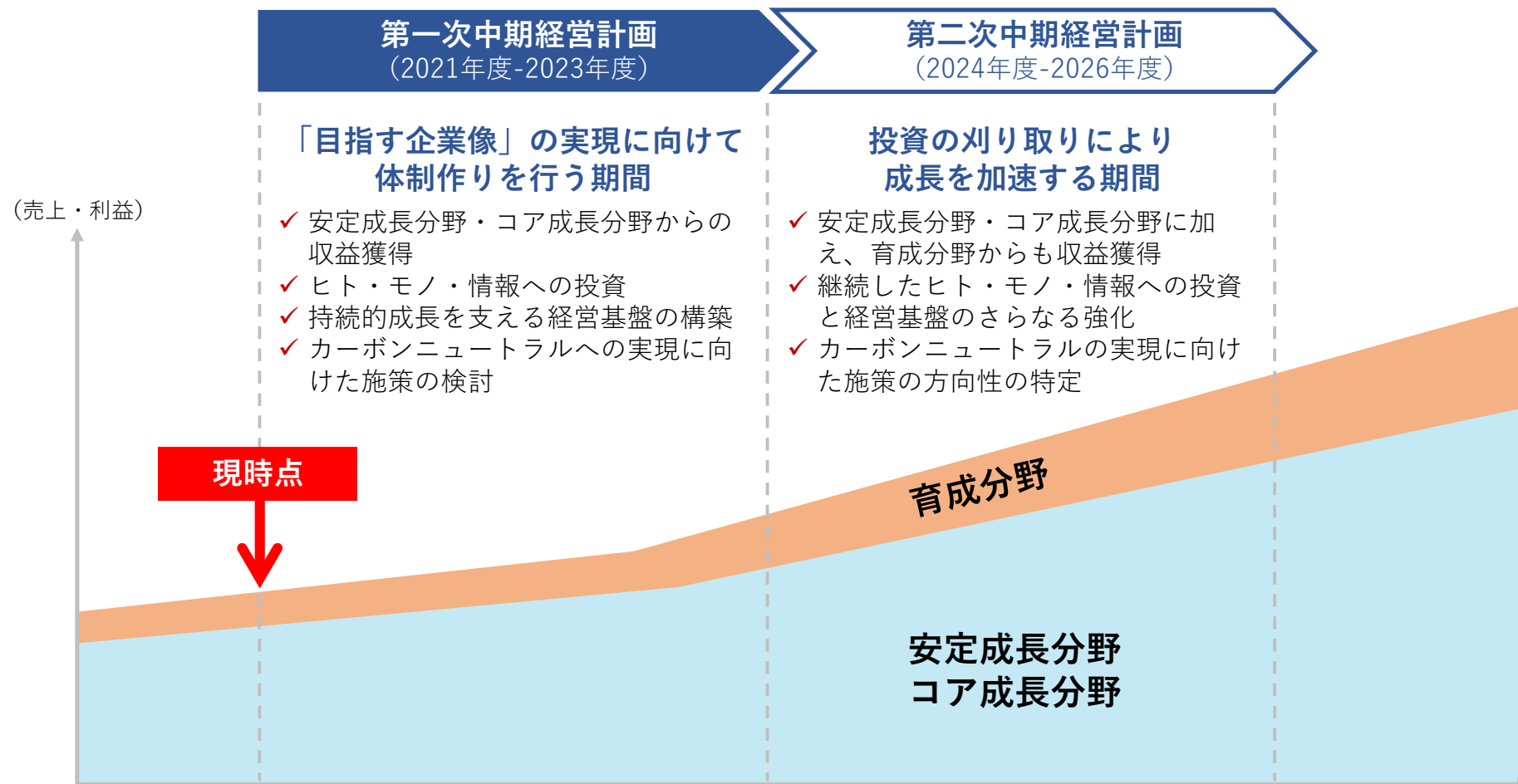
- 健康経営の推進による従業員の活力向上・組織の活性化・生産性の向上

G：ガバナンス

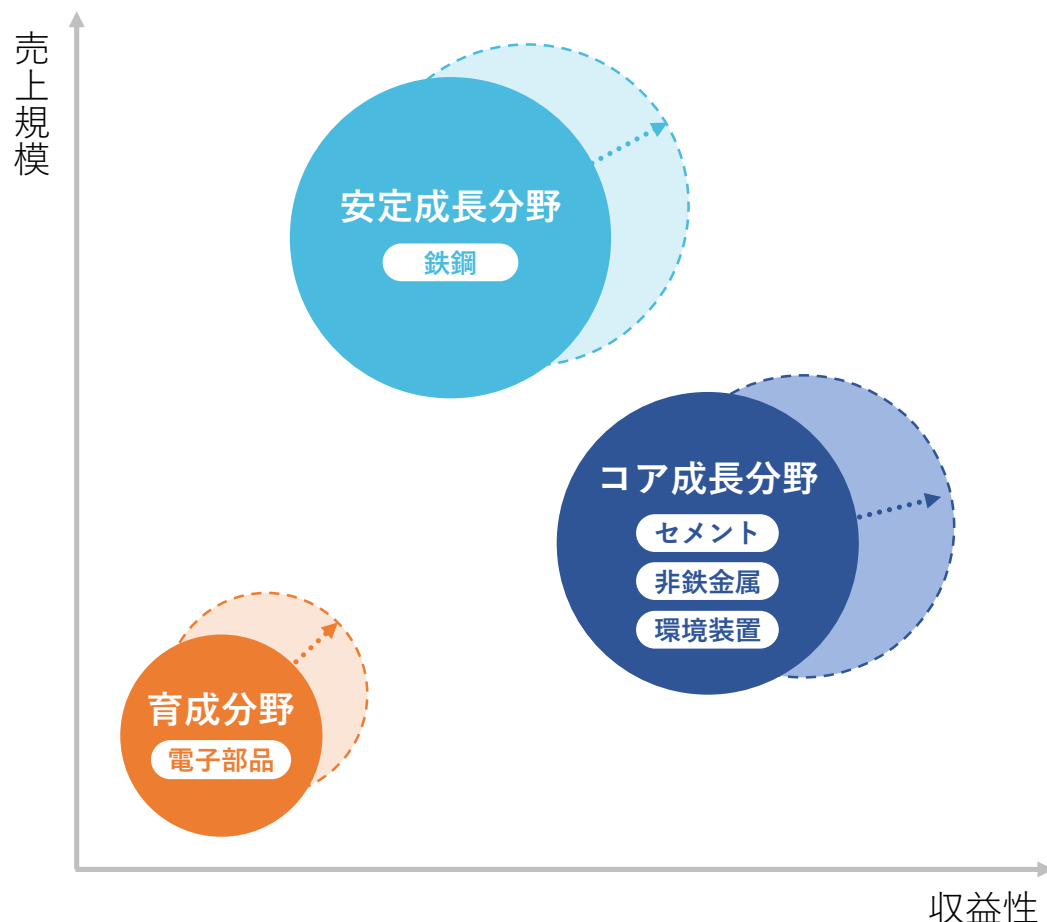
- ガバナンスの体制改革と実効性強化
- 情報開示の充実とステークホルダーとの対話

目指す企業像

社会と調和し持続的に企業価値を向上し続ける企業
収益力の維持とESG経営の推進



分野ごとのKPIを設定し環境変化に耐えうる ポートフォリオ構築を目指す



安定成長分野（鉄鋼）

重要な安定収益源として売上拡大と収益性の改善を図る。

目指すKPI

- 売上高成長率（21.3期→24.3期） + 10%

コア成長分野（セメント・非鉄金属・環境装置）

これまで培ってきた強みを活かし、積極的な売上拡大と収益性の改善を図る。

目指すKPI

- 売上高成長率（21.3期→24.3期） + 10%

育成分野（電子部品）

将来の成長事業として基盤構築を進める。

目指すKPI

- 売上高成長率（21.3期→24.3期） + 30%

第一次中期経営計画の数値目標

(百万円)

	2021.3期	2024.3期	2021.3期との比較	
			増減額	増減率
売上高	23,554	26,000	+2,446	+10.4%
営業利益 (売上高営業利益率)	2,921 (12.4%)	3,500 (13.5%)	+578	+19.8%
経常利益 (売上高経常利益率)	3,021 (12.8%)	3,600 (13.8%)	+579	+19.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高当期純利益率)	1,845 (7.8%)	2,400 (9.2%)	+555	+30.1%
ROE	6.6%	8%	+ 1.4pts	—
連結配当性向	20.1%	30%	+ 9.9pts	—

製品・営業・技術一体による売上拡大

■ 高付加価値な新製品の拡販

- ・鉄鋼：高耐食性耐火物
(マグクロやクロミア系耐火物)
- ・セメント：焼成ゾーン向けれんが
- ・全分野：不定形耐火物、不焼成れんが

■ 技術営業の強化・エンジニアリング事業の増員

- ・技術サービス員を通じた提案型営業の強化による新規顧客の開拓・既存顧客の維持
- ・近年、需要が拡大しているエンジニアリング事業の受注拡大
- ・エンジニアリング事業に付随する耐火物販売の獲得

■ 拠点拡充を含めたきめ細かい営業対応

- ・国内外営業拠点の増設による営業スタッフの機動力向上
- ・定期的な顧客訪問による顧客ニーズの把握、新製品提案
- ・営業支援システムの導入による顧客対応力強化

工業炉点検方法の多様化

- ドローン・残寸測定装置等の導入などによる点検技術の導入
- 高度な点検方法の活用による顧客との取引深化
- 点検技術の電炉メーカーへの展開

売上拡大を支える人員の採用・育成

■ 採用による人員増

- ・人材採用の積極化・成長分野への配置
- ・採用方法の多様化（中途採用・外部人材の登用、スカウト型採用の導入）

■ 育成による従業員のスキル向上

- ・スキル向上プログラムの作成・実行によるタレントマネジメントの向上
- ・人材育成プログラムの構築による人事評価制度の改定と実施

具体的な設備投資計画

- 点検用ドローン ■営業支援システム ■人事・労働管理システム

(2) 低コスト・安定供給体制の強化

原価低減・生産体制の強化

■ 製造工程における取り組み

- ・継続的な原価低減活動（工場の自動化・効率化、人員配置の最適化）
- ・大型高圧プレス導入による品質向上・生産効率化・新規導入設備の垂直立ち上げ

■ 物流工程における取り組み

- ・物流活動による輸送効率の追求

■ 全社における取り組み

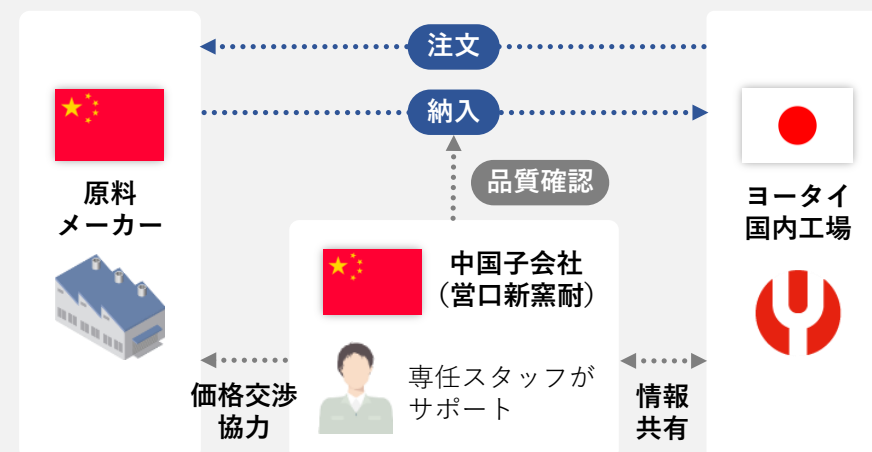
- ・基幹システムの導入、RPA・AI-OCR等の先端ICT活用による業務効率化

具体的な設備投資計画

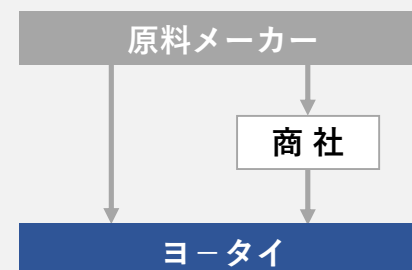
- 大型高圧プレス（1,500t以上）
- RPA・AI-OCRなどの先端機器
- 基幹システム

安定的・持続的な原料調達体制の構築

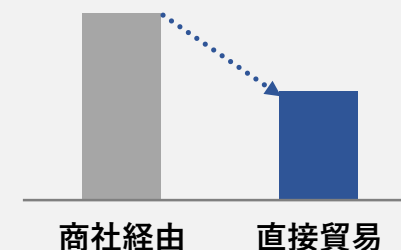
- 中国を中心としながらも、多様な調達ルートを確認しリスクを分散
- 中国子会社の活用による安定的かつ安価な調達



■ 2つのルートを確認



■ 調達コストのイメージ



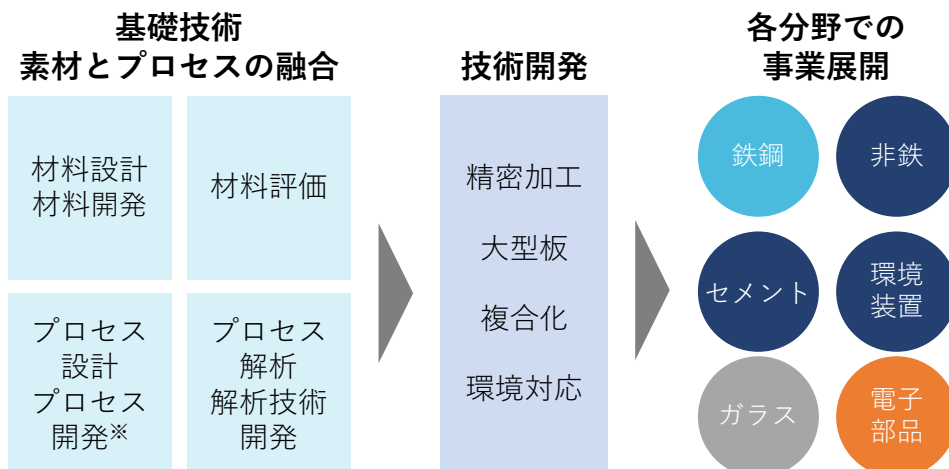
(3) 新たな収益源の育成

研究開発体制の構造改革

- 技術サービス員の育成体制の構築
- 中長期的な研究開発テーマの取組
- 新製品開発関連装置の増強による開発スピードアップ
- 電子部品向け製品の表面改質装置導入の検討
- 顧客との技術交流に基づく新製品開発

具体的な設備投資計画

- 組織解析装置
- 特性評価設備
- 電子部品向け製品の表面改質装置



※混練、成形、焼成、加工

海外展開

- 鉄鋼、セメント、電子部品を中心に当社が強みを持つ分野における既存の取引先の深堀り
- 製品の差別化訴求による炉の安定操業、メンテナンス期間の長期化提案
- 海外営業拠点の設置による取引先への機動的な営業活動の展開
- 機動力のある新たな代理店の開拓
- エンジニアリング事業部のSVサービスを絡めた販売強化



(4) ESGの推進による経営基盤の構築

E 環境

- 電気自動車の導入
- 新規発電設備の導入によるCO₂削減
- CO₂排出の少ない製造プロセス開発
- 不定形耐火物、不焼成れんが*の開発推進

*焼成工程がなくCO₂排出が少ない耐火物



S 社会

- 働き方改革の推進、従業員の待遇改善による意欲向上
- 労働時間管理システムの活用、ワークライフバランスの実現に向けた労働環境の整備
- 人事情報の一元化・活用、タレントマネジメントの向上
- 健康経営優良法人認定に向けた基盤づくり
- 地域社会との連携による地域活性化への貢献



G ガバナンス

- 持続的な企業価値向上に資する意思決定と経営戦略の遂行
- 指名・報酬諮問委員会の設置
- 株式報酬制度（RS）の導入
- 改訂コーポレートガバナンスコードへの対応



SDGsへの貢献

ヨータイは、3ヵ年の中期経営計画で掲げた主要課題に沿って、国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」解決に向けた取り組みを進めてまいります。

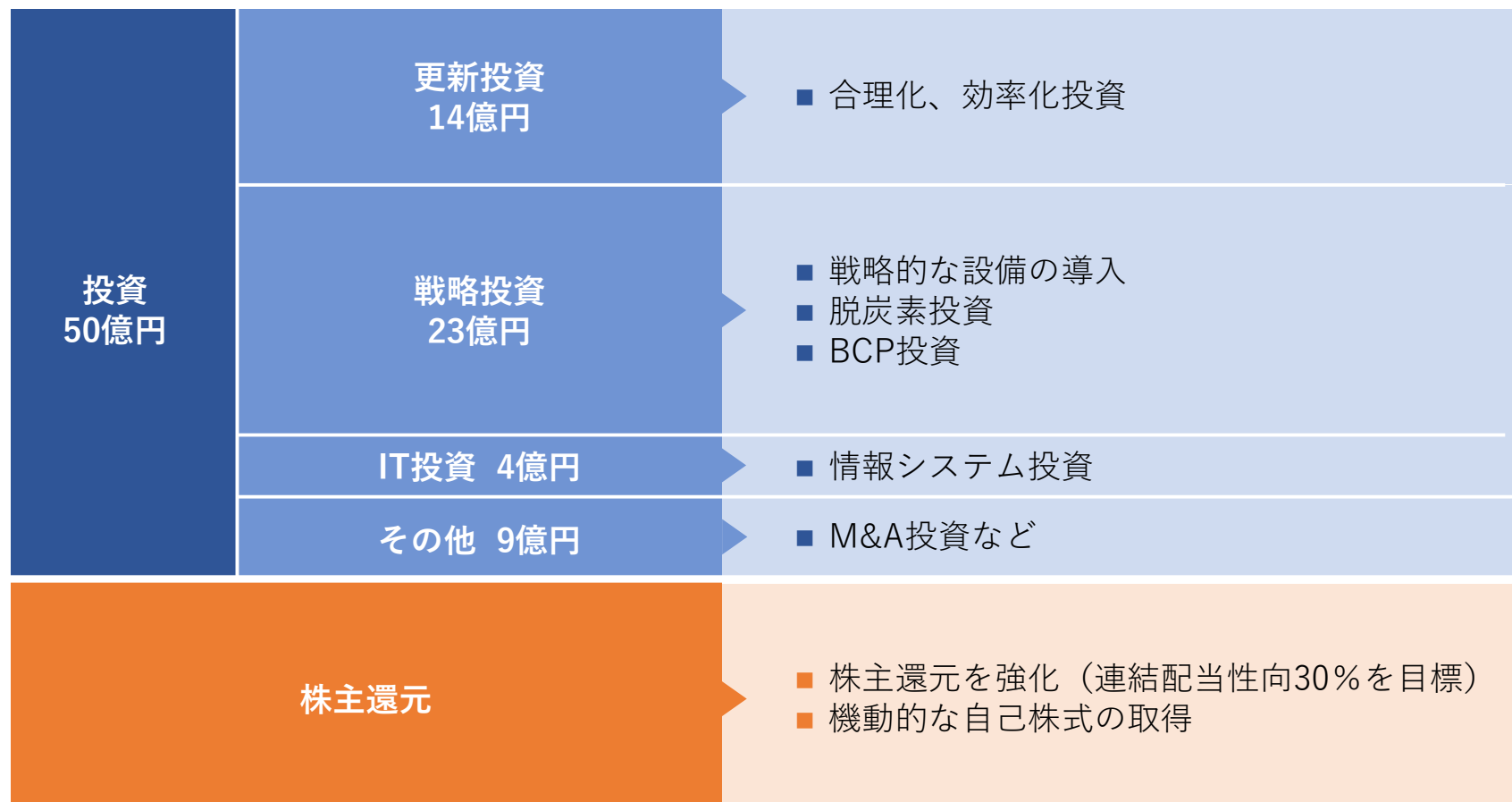


2020年12月に完成した社員寮（兵庫県赤穂市）

■ 準備期間 ■ 本稼働

		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期
● ヒト							
採用	積極的な中途人材の採用						
	スカウト型の採用方法導入						
育成	人事評価制度の改定・実施						
	スキル向上プログラムの作成・実行						
管理	労務時間管理システムの活用						
	人事情報の一元化・活用						
	健康経営の推進						
● モノ							
大型高圧プレス導入	1,500t以上のプレス設置						
新製品開発設備	組織解析装置の導入						
	特性評価設備の導入						
	電子部品向け製品の表面改質装置導入の検討						
工業炉点検方法の多様化	工業炉点検用ドローンの導入						
CO ₂ 排出削減	太陽光パネルの設置						
	電気自動車の導入						
● 情報							
DX推進	RPA・AI-OCR等の先端ICT活用による業務効率化						
	営業支援システム導入による顧客対応力向上						
	労働時間管理システム導入による働き方改革						
	人事管理システム導入によるタレントマネジメント推進						
	エンジニアリング事業部のマニュアル作業のシステム化による組織力向上						
	基幹システム刷新による業務効率化・生産性向上						
● その他							
	関連分野でのM&A投資など						

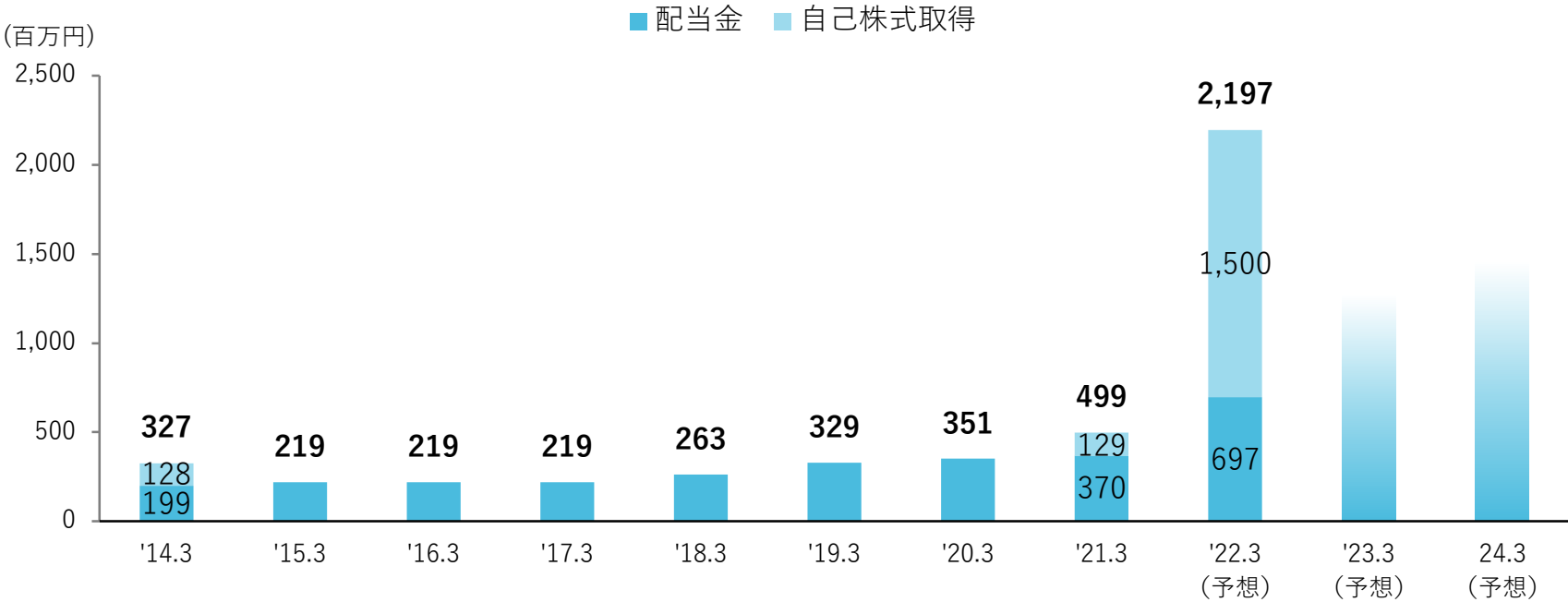
投資、株主還元への資金配分を強化



※上記以外の投資についても、内容、金額を精査し、適宜検討していく方針

連結配当性向 30%を目標にするとともに、
機動的な自己株式の取得を行う

配当金および自己株式取得額



	14.3	15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	20.3	21.3	22.3	23.3	24.3
1株当たり 配当金 (円)	9.0	10.0	10.0	10.0	12.0	15.0	16.0	17.0	32.0	—	—
連結配当性向	25.2%	23.8%	23.5%	16.0%	10.1%	9.1%	12.6%	20.1%	31.7%	—	—

難易度が高いテーマについても実現に向けた検討を進める

定形耐火物の製造プロセス



具体的な検討テーマ

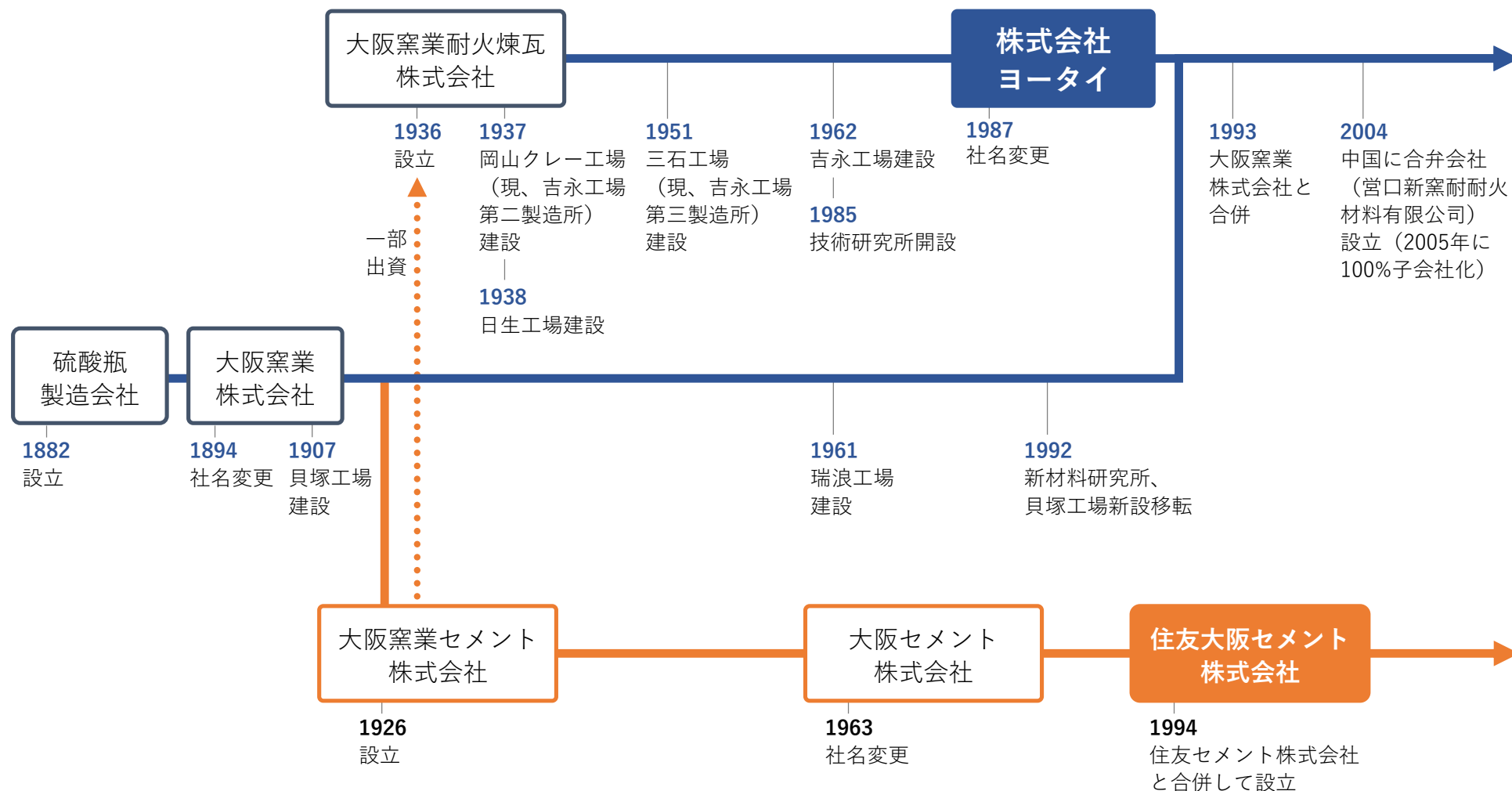


Appendix

耐火物で未来を創造

商号	株式会社ヨータイ（英訳名 YOTAI REFRACTORIES CO., LTD.）
創業	1936年（昭和11年）8月
本社所在地	〒597-0093 大阪府貝塚市二色中町8番1
従業員数	537名（2021年3月31日現在）
資本金	26億54百万円（2021年3月31日現在）
事業内容	耐火物・ニューセラミックスの製造販売および関連エンジニアリング事業
企業理念	私たちヨータイグループは、 永年に亘る耐火物製造技術の歴史と経験を後世に継承しつつ、 ヨータイ独自の技術を活かして、 革新する時代に即した新しい技術と製品を創出し、 顧客の満足度を高めるとともに、 社会に貢献する誠実な企業を目指します。

2021年は株式会社ヨータイ設立85周年



特定の系列に属さない

独立系

多業種での確固たる地位



誠実かつ機動的な顧客対応

特定の業種の動向に
影響されにくい事業構造



企業文化に裏付けされた

徹底したコストマネジメント

内製化の追求



技術営業・多能工

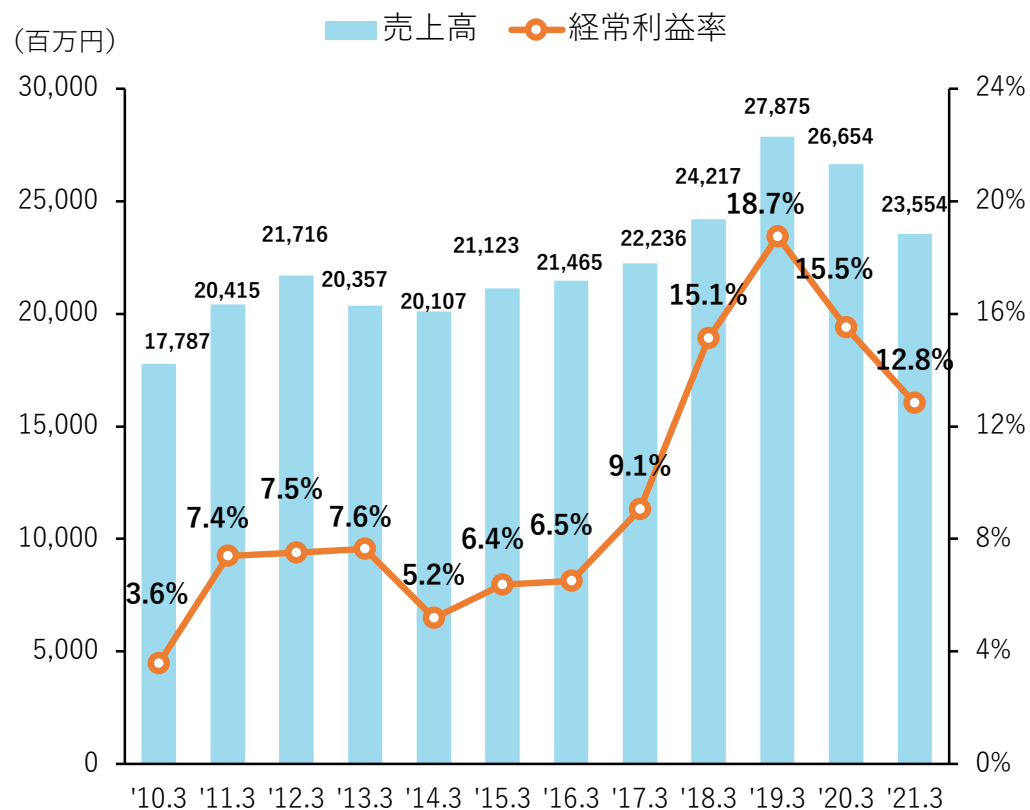
業界トップクラスの収益性



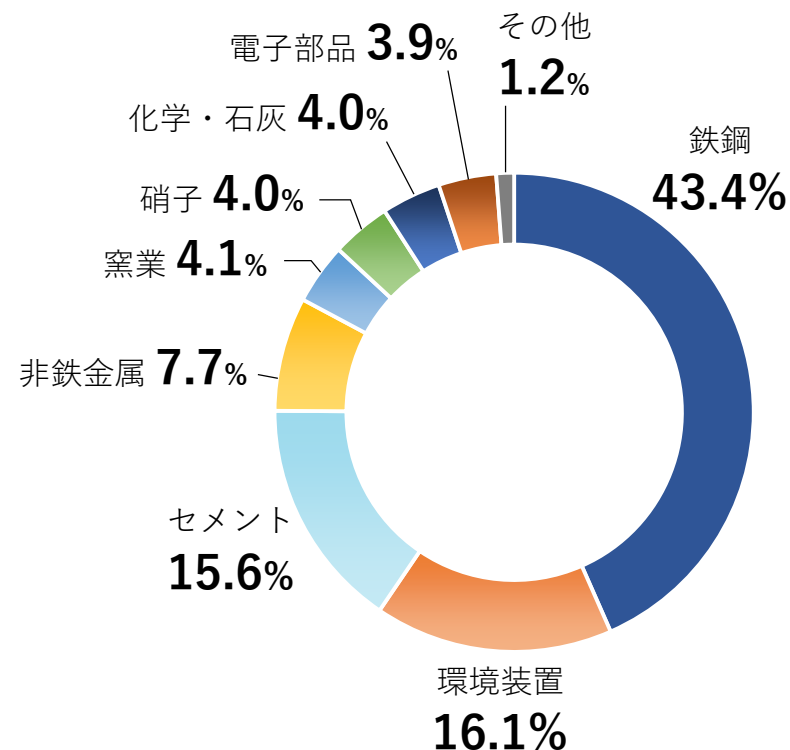
持続的な利益成長を実現

特定の業界の好不況の影響を受けず持続的に成長

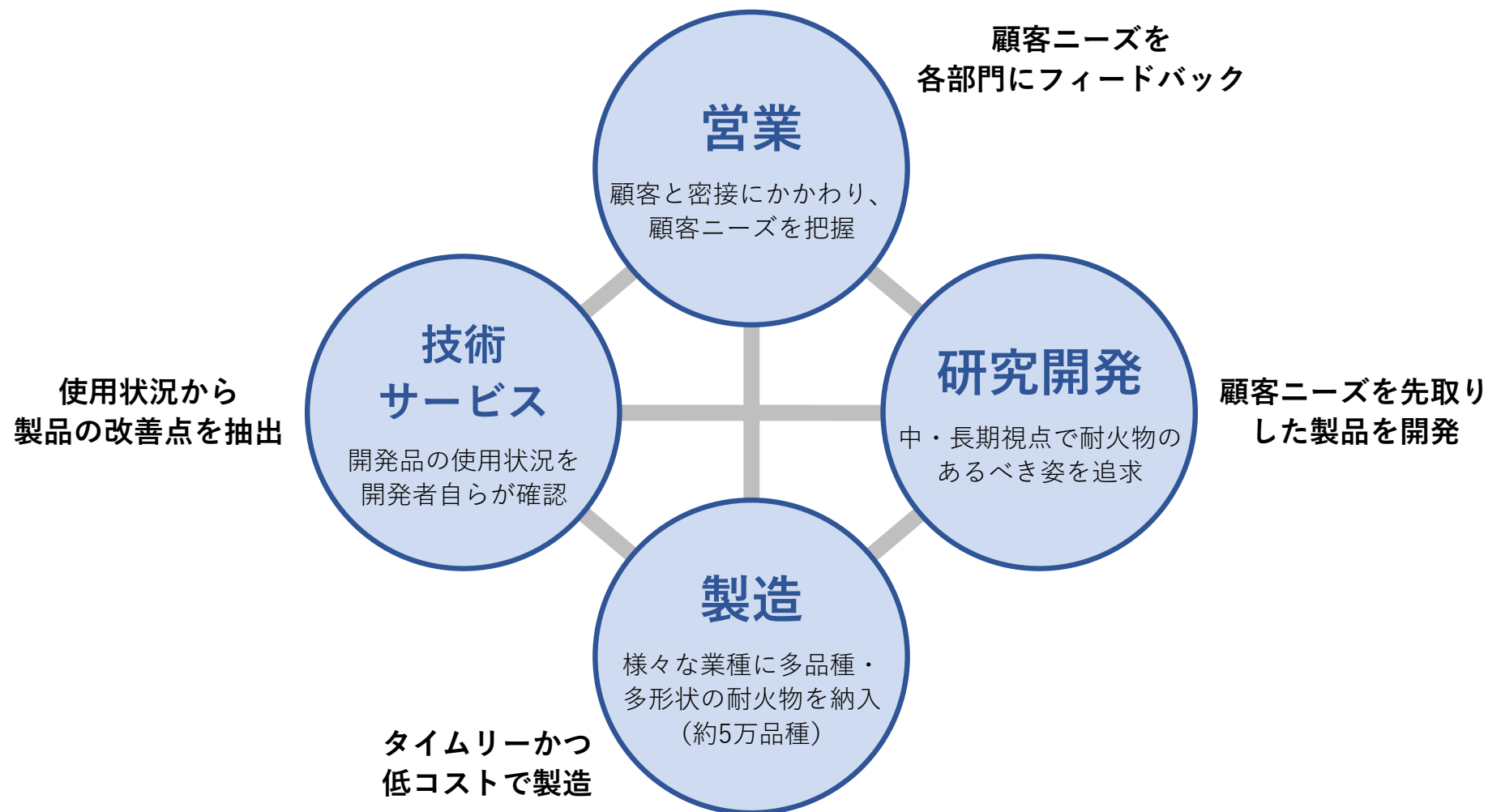
■ 売上高・経常利益率の推移
【連結】



2021年3月期の業種別売上実績（金額比）
【単体】



「営業」「研究開発」「製造」「技術サービス」が一体となって価値を提供





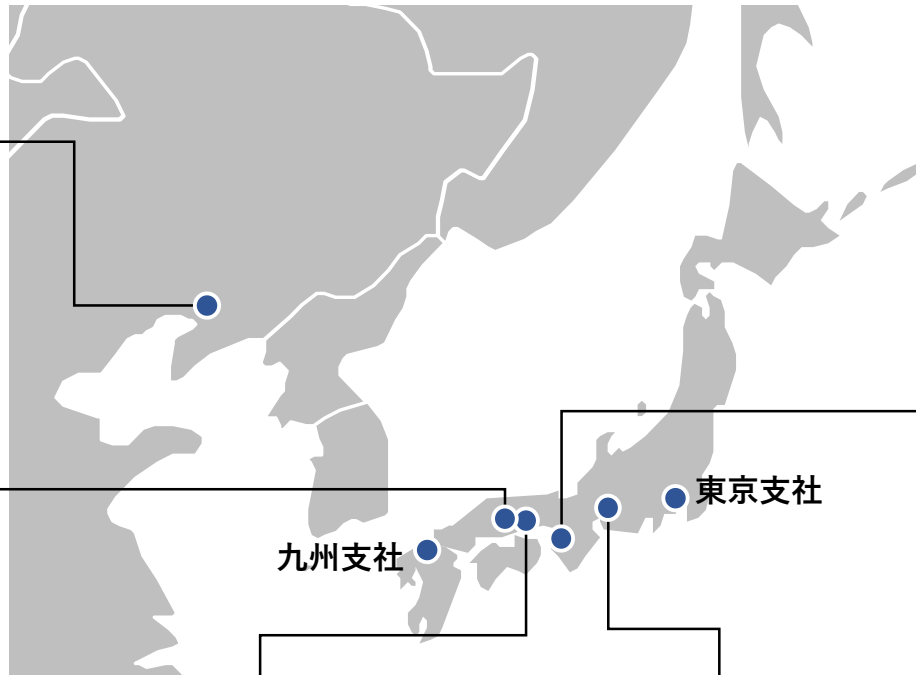
営口新窯耐耐火材料有限公司
(中華人民共和国遼寧省)



吉永工場



吉永工場第二製造所



岡山支社 日生工場
技術研究所
エンジニアリング事業部



名古屋支社・瑞浪工場



本社



貝塚工場 新材料研究所

分類

品種

主な用途

定形耐火物

ブロック状やプレート状など種々の形を持つ耐火物。成長分野である電子部品業界で使用する耐火物の多くは定形耐火物です。



スピネル	セメント
マグ・カーボン	高炉・電炉
アルマグカーボン	電炉
粘土質	汎用
高アルミナ	汎用
その他	汎用

定形

不定形耐火物

粉体状や練り土状の耐火物。粉体状製品は現場で水と混ぜ合わせて流し込んだり、吹き付けたりして使用します。練り土状製品は押し付けたり、叩き込んだりして使用します。



キャスト	
その他	鉄鋼・環境装置・汎用

不定形

お問い合わせ先

株式会社ヨータイ 業務部

住所 〒597-0093 大阪府貝塚市二色中町8番1

TEL 072-430-2100

この資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。